

No. 004

一般社団法人 和歌山県LPガス協会

平成27年1月春号



協会だより

〒640-8341 和歌山市黒田102番地の1
TEL (073) 475-4740 FAX (073) 475-4741
Eメールアドレス wakayamalpg@shore.ocn.ne.jp
協会ホームページ <http://www.wakayamalpg.or.jp/>



新春のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には健やかなお正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、わが協会を取り巻くエネルギー環境は、2012

年7月、再生可能エネルギー（再エネ）で発電した電力を、電力会社に買い取らせる制度が始まりました。しかし、たったの2年で（2014年9月から）電力5社は太陽光発電の買い取りを中断しようとしています。そんなこともあり、青森県横浜町でのドイツの企業が計画する50万キロワットのメガソーラー設置が危ぶまれています。その反面、大間原発（ウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）を燃料に使う世界初の原発）は建設を進めようとしています。

国の認定を受けた太陽光発電は、他の再エネ発電よりも高い買取価格を設定したため、太陽光発電の設置申請が急増し、運転開始前の物も含めて6600万キロワット（大間原発138.3万キロワットの47倍）となり、再エネ電力全体の9割超を太陽光発電が占めることになりました。電力会社の中には、再エネ電力が既設発電施設の発電量を上回るケースもあり、その電力の変動に対応できず停電が起きると言っています。しかし、種々の再エネ発電は、発生電気の変動が大きい欠点はあるが、それを何とか克服する努力をすべきだと思います。

創エネ住宅は、太陽光発電の買取価格の大幅引き下げにより、売電のメリットが減少するため、今後は伸び率が鈍化するものの、2025年度には太陽光発電システム採用の住宅は500万戸（全家庭の10%）を超すと予測されています。オール電化住宅も2016年度に電力小売完全自由化されることと原子力発電所の再稼働により、電力会社は本格的にオール電化の営業再開が予測され、オール電化住宅も2025年度には1,000万戸（全家庭の20%）を超すことが予想されています。

脱原発や再エネの普及が進む欧州では、総発電量に占める再エネ発電の割合が2013年度推計でスペイン26.4%、ドイツ20.9%、それに引き換え日本は2.2%と格段の差があり、日本ももっと再エネに力を入れるべきだと思います。

私は、協会の運動で火育・食育も良いが、IH等電気機器の開発に目を向けるとともに、我々の家庭の電気は全て我々で作れたらと思っています。

話は変わりますが、一部のLPガス事業者は自由販売をはき違え、賃貸マンションなどで行っている、無償配管・無償機器・それ以上に、家主へのガス料金のキックバックなどの不公正な競争をしているとの話が聞こえてきますが、その様な競争はすべきでなく、それを阻止するための活動を直ちにすべきと思っています。

最後になりましたが、会員皆様のご健勝とご繁栄を祈念しつつ、新年の挨拶といたします。本年もよろしくお願いいたします。

各地で展示会 ・フェア



今年も支部主催のガス展示会・ふれあいフェアが開催され、大勢の参加者で賑わいました。

南紀支部では「秋の大感謝祭」と銘打って、10月18日（土）に串本町の町立体育館で、10月25日（土）には新宮市の市民会館で、11月15日（土）には那智勝浦町の体育文化会館で、11月23日（日）には古座川町の明神生活改善センターの4会場で開催され、延べ1,200組余の消費者の方々が来場され、大賑わいでした。

また、11月8日（土）に和歌山市支部の販売店33社が中心となり「第4回ふれあいLPガスフェア」が和歌山ビッグ愛展示場で開催され、493組1,295人の来場者があり、大盛況でした。

昨年に引き続いて会場を和歌山ビッグ愛展示場で開催し、会場内にモデルルームを設け、ガス床暖房、システムバス、屋外の容器置き場もスマートさをアピールしました。また、万一の災害時には家族が避難して生活できる場所にもなれるよう、LPガスポータブル発電機を備え、自宅敷地内の離れなどにぴったりの設備を展示。

来場者は昨年よりも増加しましたが、事前売り上げを含めLPガス機器の販売は、消費税率引き上げの影響で昨年より減少。ただ、当日成約されたお客様が多かったため、今後もこのようなフェアは続けていく方針と支部長の談。

屋外ではフランクフルトとフライドポテトを振る舞い、親子クッキング体験として、COOKING00を使い、食パンに顔や絵を描きました。また、グリルでさくさくラスクを作りました。この体験には57家族128人の皆さんが参加しました。

今回も青年委員会を中心に「火育」として、午前と午後の2回、親子による「火起こし体験」を行い、24家族51人の方々が参加し、汗をかきながら火起こしの体験をしていました。



親子クッキング体験

地域保安指導事業 今年は5会場で実施



有田市文化福祉センターでの受講者

経済産業省の委託事業として実施してます「地域保安指導事業」を開催しました。本年度は紀中地方会員の方々に参加いただきたく有田市会場を追加し、5会場で開催しました。やはり、1会場増やしたお陰で昨年より多数の会員事業者、行政担当者の方々が参加され、延べ366人が熱心に受講されました。

本年度は、「法令指導」と「保安業務指導」の2項目について講義を行いました。

「法令指導」では、今年度中に保安機関の認定更新をしなければならない事業所も多いため、保安機関の認定についてと、世代交代や事業譲渡の事項について講習を実施しました。

併せて、「ガス放出防止型高圧ホース」の導入と早期の取替をお願いしました。

「保安業務指導」では、質量販売における点検方法や周知について事例を挙げ講義を行いました。また、緊急時対応で出動する際に持参する工具類について説明を行いました。

本年も、新コスモス電機(株)の協力で、ガス検知器の無料点検を実施して頂きました。

講習会場ごとの受講者は下記のとおり。平成27年度も実施する予定ですので、1事業所、1名以上の参加をお願いします。



新コスモス電機(株)による検知器点検

日	会場名	受講者数
10月20日(月)	那智勝浦町体育文化会館	73人
10月21日(火)	田辺市：紀南文化会館	74人
10月29日(水)	有田市文化福祉センター	62人
11月6日(木)	和歌山市：プラザホープ	93人
11月11日(火)	粉河ふるさとセンター	64人

需要開発推進運動 セミナー開催



昨年度から始まりました需要開発運動では、①「進化するLPガス」として、LPガス高効率機器の販売強化、②「究極ライフラインLPガス」として、災害時の避難拠点等へのLPガス機器の導入

促進、③「人を育むLPガス」として、火育・食育をとおして火と食の文化を子供たちに伝える。を柱に消費者等への需要を拡大する運動を展開しておりますが、目標までには至っておらず、更なる展開が必要と考え、エネファーム、GHPの構造やセールスポイントを製造メーカー担当者から説明を受け、今後の拡販に役立てていただくために「需要開発推進運動活性化セミナー」を11月21日(金)にプラザホープで開催しました。

忙しい時期にもかかわらず会員事業所から89名の参加をいただき、ありがとうございました。

冒頭、池本会長から開会の挨拶があり、和歌山県危機管理局消防防災課平班長から、基調講演「保安行政について」として、9月末現在で調査した「ガス放出防止型高圧ホース」の設置状況について講演がありました。

続いて、東芝燃料電池システム(株)岩嶋氏から「エネファーム研修」が、アイシン精機(株)関澤氏から「GHP研修」があり、受講者は熱心に聴講していました。

また、(一社)全国LPガス協会難波事業推進部長から、「国のエネルギー政策の動向について」と題した講演があり、今、国で検討されているエネルギーシステム改革の動向について詳しく解説され、参加者は熱心に受講されてました。

最後に福島副会長が我々LPガス業界にとって、重要なことばかりなので、今後ともこのようなセミナーを続けていきたいと挨拶がありました。



全国LPガス協会難波事業推進部長による講演

連絡事項

小型自動切替式調整器交換のお願い

I・T・O株式会社(旧伊藤工機株式会社)が製造販売した小型自動切替式調整器において、一部中圧ダイヤフラムの不具合が発生し、少量のガス洩れが発生する場合がありますため、代替品と取替えることになりました。

取替対象品は、8 kg/h小型自動切替式調整器で、不具合の原因は、中圧ダイヤフラムのゴム材に再液化したLPG液等が触れることで、可塑剤が流出しゴム硬度が上昇、その後の低温環境下での作動繰り返しにより小さな疲労亀裂が入ったものと考えられています。

【形式】 AXS-8B、TAXS-8Bシリーズ

【対象機器番号】1008109～1212105

【製造期間】 2010年8月19日～2012年12月10日

和歌山県には7,019台、全国で571,617台出荷されています。交換にご協力よろしくお願ひします。

L P ガス検定がリニューアル!

(一社)全国L Pガス協会では青年委員会で「需要開発推進運動」の一環として、平成25年4月から「L Pガス検定」を全国L Pガス協会ホームページにアップしています。

この度、中学生以上を対象とした一般向けの「L Pガス検定」と、小学生などを対象とした子供向けの「こどもL Pガス検定」問題を全改訂しました。

お客様に、検針票、チラシ、会報誌、封筒・名刺への印刷等により「L Pガス検定」を周知し、トライするよう呼びかけ、L Pガスのイメージアップにつなげましょう。

ホームページを開設している販売店は、「L Pガス検定」サイトをネット上でも、一般のお客様に周知・PRしてください。同サイトのリンクは自由です。

試験を楽しんでもらい、基準をクリアすれば合格者に認定証が発行されます。

L P ガスわくわくプレゼントキャンペーン

(一社)全国L Pガス協会は、WEBサイトによる「L Pガスでわくわくプレゼントキャンペーン」を行っています。(関係者は応募できません。)

- 1 キャンペーン期間
平成26年12月15日(月)
～平成27年2月28日(土)
- 2 内容(動画体験コンテンツ)
L Pガス編・コンロ編・床暖房編・
エコジョーズ編・エネファーム編
- 3 応募方法
各動画の最後に表示される応募キーワードを応募フォームに入力。
- 4 キャンペーンサイトURL
<https://www.japanlpg.or.jp/cp201412/>
- 5 当選賞品等
dysonファンヒーター等合計111名に豪華賞品が当たる。

お知らせ

前回の協会だよりで皆様からのお便りを募集していました。そこで、会員様から下記のクイズが届きました!ぜひ頭の体操をしてみてください。

問題:「ニュースの語源」は何でしょう?

ヒント:英語にするとわかりやすいです。

答えがわかった方は協会までお知らせください。素敵な景品が当たるかも知れません。

また、前回に引き続き皆様からのお便りをお待ちしています。

☆今年の漢字(どんな年にしたいですか?)

等々 何でも結構です。皆様からのお便りお待ちしております。FAX、メール、郵送、お電話等

(一社)和歌山県L Pガス協会 事務局までペンネーム、本名、販売店名をご記入の上お送りください。